

記者会見資料  
平成27年12月8日(火)  
産業部農林課(農政係)  
担当:金野(内線542)

## 大谷野菜集出荷処理施設落成式

—ほ場整備農地での特産化に向けた取り組み—

- 気仙沼市は東日本大震災により、沿岸部の被災農地648haが津波浸水による被害を受けました。
- そのうち、99.7ha、4工区では単なる原形復旧ではなく、ほ場の大区画化や道路又は用排水路の整備を行っています。
- ほ場整備をすることで、担い手が農地利用集積により経営規模の拡大や高加価値化を図り収益性の高い農業経営を図ることができます。
- 市では、各工区に復興交付金事業で農業用機械・施設・資材を貸与して支援しており、このたび大谷工区で新たに取り組んだ「ネギ」の出荷調整を目的に整備した「大谷野菜集出荷処理施設」が完成しました。
- 大谷工区では28.9haのうち、今年度に引渡しを受けた約2haの畑で、新たにネギ栽培に取り組み始め、4月末から定植を行ったものが収穫を迎えています。

### 【落成式の開催日時】

- ・日時:平成27年12月9日(水) 午前11時45分から
- ・場所:気仙沼市本吉町窪141 大谷野菜集出荷処理施設 (別紙)
- ・主催:気仙沼市

### 【協力営農組織】(施設利用団体)

- ・大谷機械管理組合 組合長 金澤 和夫(貸与先)
- ・大谷営農組合 組合長 齋藤 直行

### 【施設の概要】

- ・構造:軽量鉄骨造平屋建て
- ・延床面積:273.66 m<sup>2</sup>
- ・プラント設備:ネギ根葉切り皮剥き機2台、ネギ選別機1台、製品搬送コンベア1台、コンプレッサー2台、予冷库 19.44 m<sup>2</sup>、
- ・処理能力:1,000本/時
- ・整備費:53,471千円

関連する市震災復興計画重点事業  
No.68「生産組織育成」